

# etre



*Just a little that your anniversary will be wonderful one*

## ようこそ！周年史の世界へ

Anniversary



特集

神奈川県立川崎図書館

「社史編纂のヒント」を探しにきてください

お悩みは気軽に「オンライン相談」へ！

## 「社史編纂のヒント」を 探しにきてください



社史には、会社の歴史にまつわるさまざまな情報がまとめられています。創業以来の事業の変遷、組織、役員、企業理念や社風といったものも読み取ることができます。とはいえ、社史は発行部数・配布先が限定され、一般の人の目にふれる機会は多くありません。しかし！社史の所蔵が実に約2万冊、その大半が開架式で所蔵され、自由に手に取って閲覧できる場所があります。神奈川県立川崎図書館の社史室です。日本屈指の社史コレクションとしても知られています。10年間にわたって社史を担当してきた司書の高田高史さんにお話をお伺いしました。



神奈川県立川崎図書館  
高田 高史さん

### —— 高田さんが社史に関心を向けられた経緯について教えてください。

2011年に「社史にみる企業キャラクター」という展示イベントの企画に参加して、さまざまな企業の社史に目を通す機会がありました。不二家のペコちゃんや興和のカエル、広く親しまれているロゴマークなどを通して社史に親しんでもらおうという趣向の催しでした。以前から、社史が特定企業や業界の歴史を調べる上で適した資料になることは知っていましたが、例えば「企業のキャラクター」という切り口で複数の社史を眺めることで、社史の新しい楽しみ方が見出せたような気持ちになりました。それ以来、関東大震災に各企業はどう対応したのか、1964年開催の東京オリンピックに関してはどうかなど、新しい切り口で社史を活用する方法について、図書館のホームページなどで情報発信を行っています。

### —— 大阪府立中之島図書館との共催で「社史グランプリ」を開催されていますね。

「社史にみる企業キャラクター」展をご覧になった中之島図書館の方からお声がけをいただいたのがキッカケで、翌2012年に開催しました。図書館利用者の皆さんの投票で優れた社史を選ぶという形式ではありましたが、優劣をつけるのが目的ではなく、社史に触れる機会が増えれば良いと思い開催しました。こうした催しを通じて、社史編纂

に携わる企業担当者の皆さんとの接点生まれ、社史がどのようなプロセスを経て刊行に至るのかを、あらまし知ることができました。

### —— それが「社史ができるまで講演会」の定例開催につながるのですね。

はい、2012年6月に開催した『『日本水産百年史』ができるまで』を皮切りに、毎回、社史編纂ご担当の方を講師に招き、2019年11月までに合計34回セミナーを開催してきました。社史編纂に対する思いや苦労談、成功・失敗に関わるエピソードなどを披露していただき、各社さまざまな経緯を経て刊行に至ったのだと改めて気づかされました。残念ながらコロナ禍の影響で今は開催を中断していますが、いずれは再開できればと思います。



神奈川県立川崎図書館の開架式書棚。実際に社史を手に取ることができる

## —— 社史編纂に着手しようとお考えの方にとっては貴重な助言になりますね。

50周年や100周年などの節目を目前に控えて、社長が「うちも社史を作ろう」と起案して始まるケースが多いと思いますが、担当に任命された方は戸惑いますよね。本を作った経験のある方はほとんどいませんし、社内の意見調整、資料の発掘など何から手をつけたら良いのか、全く見当がつかないと思います。そんな方々にとって後ろ盾が得られるようなセミナーになったとすれば幸いです。

## —— 催しが開かれていない時期にも、社史編纂担当の方は頻繁に来られていますか。

社史室に来られた方一人ひとりの来訪目的を把握する術がないので何ともいえないですが、「社史編纂担当なんです」と相談を持ちかけられるケースはしばしばあります。社史がどういうものか、ある程度の固定的なイメージを持たれている方は多いと思いますが、実際はさまざまなバリエーションがあります。文章中心でしっかり深掘りした情報を記録として残すことに重点を置いている企業もあれば、最近では写真を中心に「見せる」表現を重視した社史、またNHK「プロジェクトX」風のルポルタージュ形式で物語を作り、若手社員に語り継いでいこうという趣旨の社史も多くなってきた気がします。

## —— その他にも最近の傾向としては何がありますか。

事業活動のグローバル化に対応した動きだと思えますが、外国語版も併せて刊行される事例が少しずつ増え



高田さんの著書



社史コーナーにある優先デスク

てきました。私が知る限りでは8カ国語版を刊行した企業もありました。社史づくりは日本ならではの慣習ともいわれてますから、海外で働く現地の従業員にとっては珍しく、とても喜ばれるそうです。また最近ではコンプライアンスの遵守と連動して、過去に起こした事件・事故などのトラブルについて一連の経緯を解き明かし、将来を担う世代に教訓として残しておこうという事例も散見されます。

## —— 社史もまた、時代と共にさまざまな変化がありそうですね。

ともあれ、これから社史の編纂を考えようとしている方に対しては、自分たちが作りたい社史のイメージを固めるためにも、まずは当図書館を利用されることをお勧めしたいですね。さまざまな社史を眺めるだけでも、「こんな作り方もあるのか」とヒントが得られると思いますよ。

(インタビュアー・構成／建野友保)

### ◇神奈川県立川崎図書館

〒213-0012 川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP西棟2F

JR武蔵溝ノ口駅および東急溝ノ口駅よりKSPシャトルバス(無料)あり(時間帯注意)。



無料シャトルバス

ホームページはこちら



#### コンテンツも充実

##### ●「すごい社史」

写真と簡単な説明で、特色のあるさまざまな社史を紹介!



##### ●「社楽(社史情報紙)」

全国有数の社史コレクションを活用していただくための社史の使い方や社史情報をお届け!



### ◇大阪府立中之島図書館

〒530-0005

大阪市北区中之島1-2-10

ホームページはこちら



関西近郊の方はこちらで社史が閲覧できます

##### ●「社史コーナー目録」

大阪府立図書館が所蔵している社史を検索できます





私ども株式会社エトレは1972年にベンチャーカンパニーとして起業し、広告宣伝や販売促進などの企画・制作を手がけて実績を重ねてきました。1990年代からは周年事業の領域に進出し、以来、30年にわたり企業・団体をサポートしています。

周年事業の中でも、周年史は自社のDNAを次世代へつなぐ重要なコンテンツです。周年メディアを通じ、歴史情報を感動とともに次世代へ受け渡す、これがエトレの考え方の基本です。紙からデジタルへ、あるいは映像やイベントなど多種多様に表現形式が広がりつつある今も、その認識は変わりません。周年事業に取り組まれる方々に、ぜひ“周年事業の醍醐味”を体感していただきたいと考えています。

## エトレ周年事業室ができること

周年史制作をはじめ、複数のメディアを組み合わせたご提案も可能です。貴社にとって最適な形態をご提案します。



周年史  
・上製本、並製本  
・電子ブック



周年プロモーション  
・記念商品、パッケージ  
・SNSキャンペーン



WEBサイト  
・記念特設サイト  
・沿革コンテンツ



グッズ・ノベルティ  
・パッケージ  
・ロゴ、スローガン



映像  
・紹介動画、スライド  
・式典用映像



式典・イベント  
・式典、展示パネル  
・運動会

## お悩みは気軽に「オンライン相談」へ！

周年アドバイザーによる「オンライン相談サービス」を承っております。  
初めてご担当になられた担当者様向けに“簡単に”“無料で”ご相談いただけます。  
メールではなく直接お話されたい時などお気軽にご相談ください。



お問い合わせ



**06-6202-5260**  
(営業時間 10:00~18:00 / 土・日・祝日を除く)



【担当】前川  
✉ [maekawa.yukiko@etre.co.jp](mailto:maekawa.yukiko@etre.co.jp)

### 周年 コラム

## 2022年に「周年記念」を迎える企業は全国に13万5,425社。

全国13万5,425社のうち、50周年を迎える企業は2万2,945社、100周年を迎える企業は1,065社あります。50周年企業を見ると、スポーツ用品小売店「スポーツデポ」などを運営するアルペン(名古屋市)、100周年企業では、大手私鉄「東急電鉄」グループで沿線開発を行う東急(東京都)、人気パンシリース商品を揃えるフジパン(名古屋市)などがあります。

周年を積み重ねてきた企業は、生き残りをかけて幾多の困難を乗り越えて今を生きています。その軌跡は、未来の周年企業にとっても価値のある教訓や知恵、工夫

を見出せる道標になると考えます。

周年を契機に発信される情報は千差万別です。

いかにして歴史のストーリーを描き出し、感動や智恵を掘り起こすか。さまざまな事物に痕を残し、歴史の営みを語ること——。

史実の記録とともに、記憶を感動に昇華させる、そのお手伝いをすることが私どもの役割です。

※出典元：株式会社帝国データバンク情報統括部  
特別企画：全国「周年記念企業」調査(2022年)



周年事業室 前川祐貴子

周年事業広報誌「etre」発行・編集

株式会社エトレ 周年事業室

【大阪事業部】 〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2丁目1-14 KDX北浜ビル6階 電話：06-6202-5260

【東京事業部】 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル6階 電話：03-3238-6233

お問い合わせは 前川まで ✉ [maekawa.yukiko@etre.co.jp](mailto:maekawa.yukiko@etre.co.jp)

エトレ 周年事業室

検索